

令和8年度 年間授業計画(東京都立科学技術高等学校)

学科	学年	教科	科目	単位数
創造理数科	3	理数	理数探究	2

1学期配当時数	2学期配当時数	3学期配当時数	計
28	32	18	78

使用教科書
自校作成プリント

教科の目標

【知識及び技能】 対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする。	【思考力、判断力、表現力等】 多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。	【学びに向かう力、人間性等】 様々な事象や課題に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。
---	---	---

科目の目標

【知識及び技能】 対象とする事象について探究するために必要な知識及び技能を身に付けるようにする	【思考力、判断力、表現力等】 多角的、複合的に事象を捉え、数学や理科などに関する課題を設定して探究し、課題を解決する力を養うとともに創造的な力を高める。	【学びに向かう力、人間性等】 様々な事象や課題に主体的に向き合い、粘り強く考え行動し、課題の解決や新たな価値の創造に向けて積極的に挑戦しようとする態度、探究の過程を振り返って評価・改善しようとする態度及び倫理的な態度を養う。
--	---	---

■1学期

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態
単元名 : 研究活動の継続と論文作成の基礎 【知識及び技能】 研究活動を継続し、データを適切に収集・分析する技能を身に付ける。論文の目的、仮説、方法、結果、分析、考察、推論、参考文献等の基本構成を理解する。研究倫理(引用のルールなど)について理解し、簡単な下書きを作成する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 得られた結果を分析し、先行研究等から得られた情報と自らの知見を区別して論理的に記述する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 研究倫理を守り、探究の成果をまとめることに主体的に取り組もうとする態度を養う。	・指導事項 研究活動の継続とデータの追加収集、分析を行わせる。 論文の意義、基本構成、研究倫理(引用・参考文献の明記、盗用防止等)の指導を行う。 収集したデータをもとに、簡単な論文の下書きを作成させる。 先行研究と自らのデータを比較し、論理的に考察を組み立てる方法を指導する。 知的財産や他者の研究成果を尊重する態度を育成する。 ・教材 なし ・一人1台端末の活用 等 情報収集・検索(先行研究、関連情報)データ収集・記録の補助	【知識及び技能】 データを適切に収集・分析できる。論文の構成と研究倫理を理解し、ルールに則って簡単な下書きを作成できる。 【思考力、判断力、表現力等】 先行研究と自らの知見を明確に区別し、論理的な考察を組み立てることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 研究倫理を守り、論文作成に向けて主体的に取り組もうとしている。	○	○	○

■2学期

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態
単元名 : 論文の執筆と推敲 【知識及び技能】 下書きをもとに、学術的な表現や図表を適切に用いて本格的な論文を執筆する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 探究の過程全体を整理し、客観的かつ論理的に成果を記述する力を養う。他者との議論を踏まえ、論理的な矛盾や表現を推敲・改善する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 自らの論文を批判的に振り返り、質の高い論文の完成に向けて粘り強く取り組もうとする態度を養う。	・指導事項 論文形式での本格的な執筆活動を行わせる。 図表の効果的な使い方や、客観的な表現方法について指導する。 論理的な展開になっているか、データと考察が合致しているかを確認させる。 教員や他者との意見交換を通して、論文の推敲と改善を行わせる。 自身の執筆内容を客観的に見直し、妥協せずに改善を図るよう促す。 ・教材 なし ・一人1台端末の活用 等 情報収集・検索(先行研究、関連情報)データ収集・記録の補助	【知識及び技能】 学術的な表現や図表を用いて、適切な形式で論文を執筆できる。 【思考力、判断力、表現力等】 探究の過程と結果を論理的に記述し、他者の意見をもとに客観的に推敲・改善できる。 【学びに向かう力、人間性等】 論文の推敲において、自らの記述を批判的に振り返り、粘り強く改善しようとしている。	○	○	○

■3学期

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態
単元名 : 論文の完成と探究の総括 【知識及び技能】 推敲を重ねた論文を最終的な形式に整え、完成させる技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 探究活動全体を俯瞰し、研究の成果と今後の課題を論理的に評価し総括する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 完成した論文を通して自己の成長を認識し、探究全体を自己評価して今後の進路や在り方生き方に生かそうとする態度を養う。	・指導事項 論文の最終確認と提出を行わせる。 論文内に「今後の課題」を明記させ、探究の限界と発展性を記述するよう指導する。 探究の過程全体を記録とともに振り返り、自己評価や今後の進路への接続を考えさせる活動を取り入れる。 ・教材 なし ・一人1台端末の活用 等 情報収集・検索(先行研究、関連情報)データ収集・記録の補助、報告書作成、発表資料作成	【知識及び技能】 論文を最終的な形式に整え、完成させることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 探究活動全体を俯瞰し、成果と今後の課題を適切に評価し記述できる。 【学びに向かう力、人間性等】 自己の成長を認識し、今後の活動や進路に探究の経験を生かそうとしている。	○	○	○

